

## 「着衣泳訓練を実施」

吉川松伏少年消防クラブ

平成26年8月1日・2日、消防署において宿泊研修を実施。

この研修にて、大規模災害時における避難所での生活を疑似体験し、生活の不便さや最低限必要な物資等は何かを身を持って体験しました。また、水の事故に対

し「自分の身は自分で守る」ことを目的に着衣泳訓練を実施しました。

さらに、各個人が実際に必要とする一日分の水分量を計測し、災害に備える水分量を確認するとともに、消防団所有の可搬ポンプを用いてホース延長から放水までの一連の流れを実施し、実践的な消火活動を体験しました。

大規模災害時における避難所での生活と同様な空間スペースに段ボールを使用しての寝床作り、クラブ員達は生活の不便さや最低限必要なものは何かを身を持って体験しました。

